

**「震災」と「みなとまち」を考える座談会  
～復興に向けての地域連携～ が開催されました**

平成24年5月1日（火）、新潟県村上市の村上市役所会議室において、「震災」と「みなとまち」を考える座談会 ～復興に向けての地域連携～ が開催されました。

座談会には、小谷隆亮大洗町長、大滝平正村上市長、鬼頭平三（社）日本港湾協会理事長、長田信北陸地方整備局港湾空港部長、下司弘之関東地方整備局港湾空港部長が出席しました。

冒頭、本座談会の開催地である村上市の大滝市長より、「東日本大震災とその後の風評被害により、東日本太平洋沿岸の観光産業等に大きな被害をもたらしていることは誠に残念。一刻も早い復興に向けてお役に立てることがあれば対応していきたい。」との挨拶がありました。

その後、座長である鬼頭理事長より、「東日本大震災とその後の風評被害に対して、日本海側の『みなとまち』との連携により、東日本太平洋側の『みなとまち』復興への取組を加速できないかという観点から座談会を開催させて頂きました。」との説明がありました。

引き続き、大洗町の小谷町長より、東日本大震災の被災状況の報告と併せて「茨城港大洗港区においても東日本大震災の被災後速やかに海岸の瓦礫の撤去などを行い、海水浴に間に合うよう整備を行ったが、観光客数は大幅に減った。今年こそ観光客が戻るよう観光産業等の復興を進めつつ、地域振興に力を注いでいる」旨紹介がありました。

意見交換では、出席者より、「東日本大震災は東日本太平洋側で発生したが、どこでも起きうるものであり、日本海側と太平洋側とが協力して対応していくために日頃からの交流が必要。」、「両市は、港の振興を図り観光により誘客する等の似ているところも多く、相互に参考にすべきところが多い。」等との意見が出され、今後、両市で連携強化を図っていくことが確認されました。



座談会の様子



大滝村上市長（左）と小谷大洗町長（右）との握手